

異所性尿管瘤の1例

外山 貴士 塚原 宏一* 中島 鉄夫
杉本 勝也 松下 照雄 小鳥 輝男

要 旨

尿路感染症で超音波にて右水腎症が指摘された患者に腎シンチグラフィが施行された。シンチグラム上、膀胱内の欠損と右腎上極が無機能であることがわかり、排泄性尿路造影と膀胱造影にて異所性尿管瘤が確認された。

はじめに

異所性尿管瘤は通常超音波または排泄性尿路造影にて診断されるが、腎シンチグラフィにおいても比較的特徴的な所見を呈し、診断が可能と思われた1例を報告する。

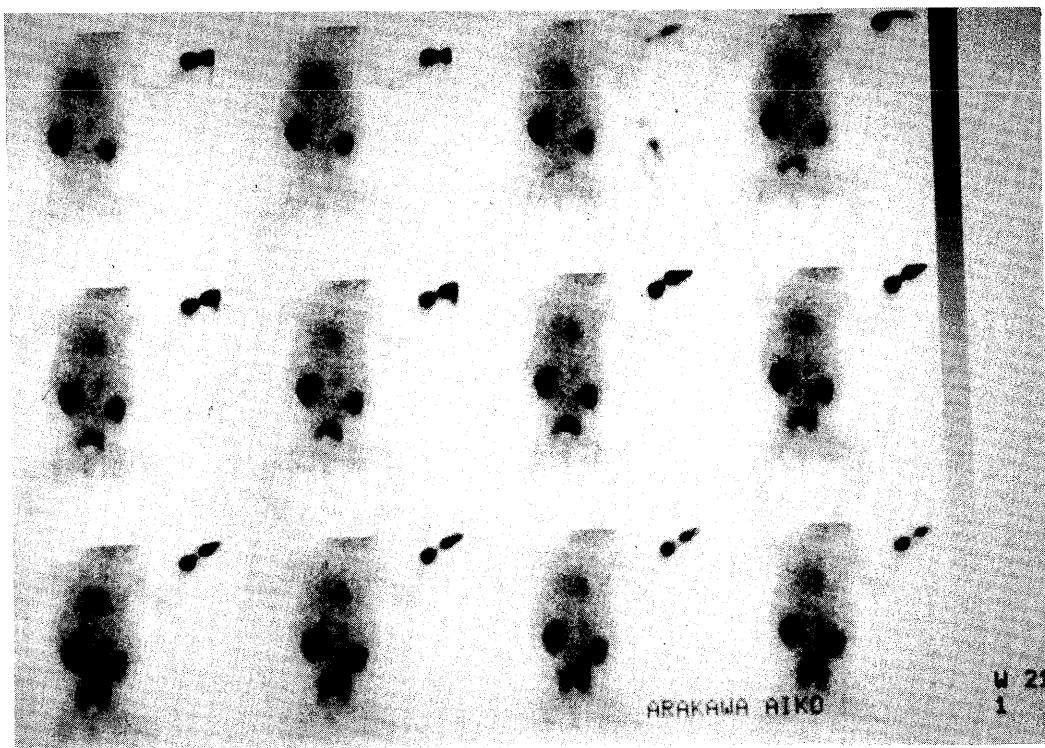


Fig. 1 99m Tc-DTPA dynamic renal scintigram. Round photodeficit area is noted in the lower part of the urinary bladder. The upper part of the right kidney is also defective.

A case with ectopic ureterocele

Takashi Toyama, Hirokazu Tsukahara, Tetsuo Nakashima, Katsuya Sugimoto, Teruo Matsushita,
Teruo Odori

Department of Radiology and *Pediatrics, Fukui Medical School

福井医科大学放射線科, *同小児科 〒910-11 福井県吉田郡松岡町下合月 23

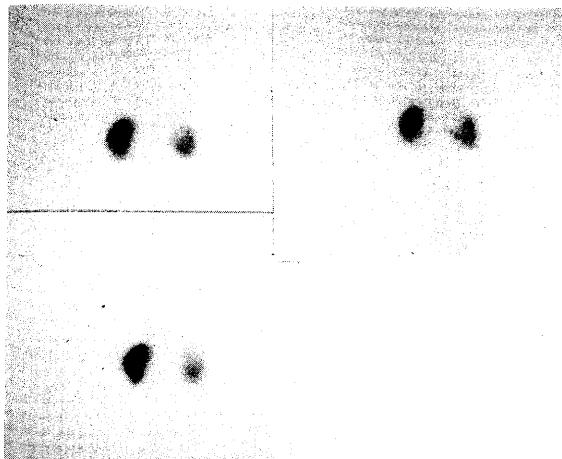


Fig. 2 99m Tc-DMSA renal scintigram. The upper part of the right kidney is defective.

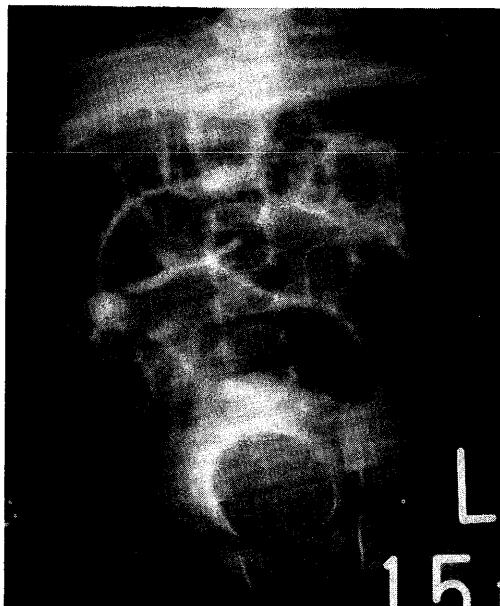


Fig. 3 Excretory urogram shows large oval filling defect in the contrast-filled bladder and the infralaterally displaced right kidney.

症 例

日齢 20 日の女児

主 訴：発熱、痙攣

現病歴：1989年6月6日発熱と痙攣が出現し翌日当院小児科を受診、血液および尿検査にて尿路感染による敗血症を疑われ抗生素による治療を受けた。その後の超音波検査にて右水腎症を指摘され精査のため核医学検査を依頼された。

身体所見：体温 39.4°C 、皮膚黄染

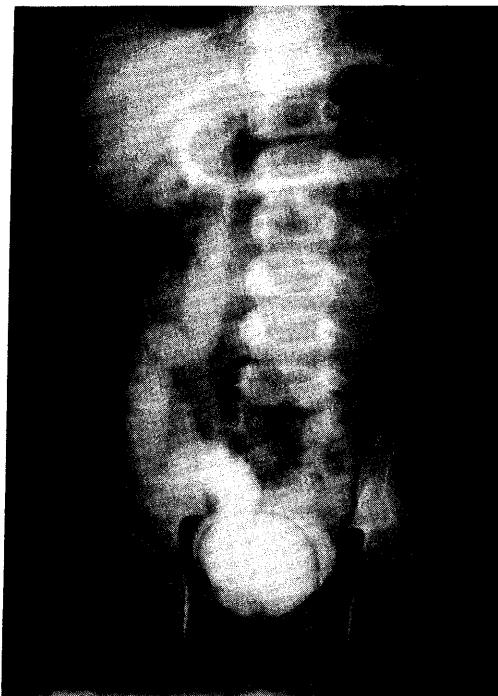


Fig. 4 Voiding cystogram shows opacification of the ureterocele and the corresponding upper tract. Thin radiolucent halo around the contrast-filled cele is considered the wall of the ureterocele.

検査成績：検尿で潜血（3+）蛋白（1+）尿沈査で白血球多数。血液では白血球 17,800, CRP (6+), T.Bil. 10.4, 血液、尿からの培養で K. pneumoniae が検出。

画像診断のポイント

腎動態 (Fig. 1) および静態 (Fig. 2) シンチグラムでは、右腎上極の欠損と膀胱下部の円形の欠損を認める。超音波の情報と合わせて重複腎孟尿管を伴った尿管瘤との診断も可能であるかと思われるが、われわれは膀胱の欠損を見落としたため、診断名は上げられなかった。排泄性尿路造影 (Fig. 3) では、右腎孟が下外側に偏位し（いわゆる drooping lily sign）重複腎孟で上側の腎孟が拡張していることを示唆する所見である¹⁾。膀胱には頸部に広基性に付着する境界明瞭かつ平滑や陰影欠損がありこれは異所性尿管瘤を疑う所見である。膀胱造影では逆流により尿管瘤とそれにつながる拡張した尿管と右上腎孟が認められ、重複腎孟尿管を伴った異所性尿管瘤と診断された。

考 案

尿管瘤は尿管末端部が球状に拡張し膀胱内腔に突出したもので、尿管が正常の位置に開口する単純性と、尿管が正常の位置から粘膜下を下降して尿道近位部に開口する異所性に分けられる。前者は年長児や成人に多く、後者は年少児に多くほぼ全例に重複腎孟尿管を合併する¹⁾²⁾。診断には超音波と排泄性尿路造影が有用であり、核医学検査は患側の残存腎機能および健側腎機能の評価のために行われる。しかしながら本症例のように核医学検査施行時に診断

がついていない場合には、膀胱部の注意深い観察により腎シンチグラフィでも診断することが可能と思われた。

文 献

- 1) Silverman FN, Kuhn JP; Essentials of Caffey's pediatric X-ray diagnosis, Ryon, ed, Year Book Medical Publishers, Inc. p687-691, 1990
- 2) Swischuk LE; Imaging of the new born, infant, and young child.(3rd ed), Grayson ed, Williams & Wilkins, Baltimore, p636-639, 1989